

せとうちちょう 議会だより

第146号

平成24年8月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



議員大会後の研修会にて
講演を行なう本町出身の
宮畑豊氏（右）
熱烈な歓迎でもてなす本
町の議員一同（左）



一般質問

第2回（6月）定例会では、9名の議員が町政全般に亘り、質問・提言を行ない議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



林 健二議員

議員 観光の振興について

1. 実久戦跡の公園整備化について、これまでの取り組みと、今後の方向性について

町長 実久戦跡については、まちづくり戦略事業に調査費を計上しており、制度事業等によって実施する考えであります。

議員 2. 奄美満喫ツアー助成事業へ瀬戸内町も参画すべきと考えますが町長の見解を求めます。

町長 奄美満喫ツアー助成事業については、奄美市・

龍郷町と協議をしながら参画に向けて進めて参ります。

議員 プロロードバンド環境の改善について

出口の問題（ポトルネットワーク）の解消のため、宇検・大和ルートの空き芯を活用できないかと提案したが、その後の対応についてお尋ね致します。

町長 宇検・大和回りの空き芯を活用した新ルート対応が可能になりましたので、6月議会終了後、整備を実施致します。

議員 一次産業の振興について

加計呂麻島の一次産業の振興を目的とした、農林水産物の特売所を、加計呂麻島（瀬相地区）に整備すべきと考えますが、町長の見解を求めます。

町長 瀬相港で毎月開催される青空市の実績等を精査し、いつでも地域の特産物が購入できる環境づくりを整える必要があると考えております。

議員 フェリーかけろまの自動車航送料（軽自動車）の割引きについて

軽自動車に限り、運賃の値下げ（割引き制度）を試験的に行うべきと考えますが、町長の見解を求めます。

町長 運賃の改定につきましても、影響と効果について調査し、最良と判断できましたら、根拠を整理し、国・県と協議して参りたいと考えております。

議員 防災について

昨年の豪雨災害において、孤立状態が続いた須子茂小学校区に、緊急時の海上輸送を

可能にするため、棧橋を建設すべきと考えますが町長の見解を求めます。

町長 孤立状態が続く中、救援物資等の海上輸送も、接岸施設が無いため危険な状態であったと報告を受けております。

最悪の事態に対する備えとして「特定離島ふるさとおこし推進事業」の導入等、関係機関と連携を図りながら検討して参ります。

※その他の質問

- ◇Eco自治体の推進について
- ◇メガソーラの導入について
- ◇緊急雇用対策について
- ◇消防団活性化について



渡島芳臣議員

議員 エフエム放送局の受信について

各家庭にFM放送用ラジオが配布されましたが、感度が悪く聞こえにくいと言う事があります。音声を良くする方法を伺います。

町長 FMラジオの場合、アンテナが長いほど良く受信できます。本町は山で囲まれた集落が多く、電波の受信状況が悪い集落が多数存在します。こうした難聴地域は、防災行政無線の個別受信機の屋外アンテナを活用して聞こえる様に改善を図って参ります。

議員 災害対策の取り組みについて

1. 豪雨災害により被害を受けた古仁屋市街地を含め、各集落の浸水防止対策を伺います。

町長 伊須集落等、低地は工法的に高度な技術を要する事から、今後は関係機関と連携を図り改善に向けて努めて参ります。

議員 2. 市街地の側溝は豪雨災害により、ほとんど塞がれた状態になりましたが、この土砂の取り除き状況を伺います。

町長 調査を行ない緊急性等を優先し、計画的に直営及び外注により対処して参ります。

議員 住宅リフォーム制度導入について

低迷する建築業界の景気回復の起爆剤になると考えますが、この助成事業を進められないか伺います。

町長 この制度は、緊急経済対策として実施されたもので、奄美市等の実施状況を見ますと、大きな経済効果があり、建築業界の景気回復の起爆剤になると期待できますので、実施に向けて取り組んで参ります。

議員 高齢者や身体の不自由な方々の支援について

高齢者や独り住まいの日常的な支え合い、見守り活動の取り組みを伺います。

町長 見守り活動につきましては、在宅福祉アドバイザーや認知症サポーター等を養成しており、高齢者等に対する声かけや安否確認

などを行っております。

議員 清水運動公園整備について

1. 子供の唯一の遊び場であり、親子のふれあいの出来る遊具施設場所の環境整備、新設遊具の整備計画を伺います。

町長 遊具施設整備につきましては、補助事業等の制度事業がないか調査し、環境整備に努めて参ります。

議員 2. テニスコート整備の施行手順、管理棟及び力ベ打ち施設の整備計画を伺います。

町長 工事着工予定は、平成24年10月～平成25年2月までを計画しています。管理棟、カベ打ち施設は、関係団体等と協議し検討して参ります。

～議会を傍聴しませんか～

次回の定例会は9月に行われます。どなたでも傍聴できますので、

お気軽に議会事務局へお問い合わせ下さい。(72-1072 直通)



安 和弘議員

議員 去る6月10日、一時

間に68ミリという豪雨に
又々、本町が襲われ昨年の災
害の爪あとも消えぬまに更
なる災害に見舞われました。

特に3年連続で同じ思い
をさせられた伊須集落。カケ
ロマの裏の西阿室、嘉入、須
子茂、阿多地集落においては、
生活道路の寸断で外部との
連絡が断たれ孤立するとい
う、昨年の繰り返しが起きて
しまいました。

思うに、人の命を第一義に
考えた時、条件整備が整おう
と整わないとに問わず、又、
「費用対効果」のそのおま、
何が何でも災害には対処し
ていただきたい。

依り嘉入あるいは、瀬相く

嘉入、瀬相く西阿室間のトン
ネル化というものを夢では
なく、現実のものとして考え
ていかねばならない…と真
剣に思うものであります。今
回の大雨の事で、方々で耳に
することは、「あらゆる情報
が、いち早く届いた…」と
開設早々の「FMせとうち」
を評価する声でありました。

ただ一部では、「聴き取り
づらい…」、「入らない…」
との声もあります。な
ぶん相手は電波という気ま
ぐれな怪物。今後、電波を
拾いやすい方法などの啓蒙
活動をはじめ、その解消に
向けての努力を望むもので
あります。

それでは、以下の点につ
いてのお尋ねを致します。
**防災について（初動態
勢）**
昨年の豪雨災害、瀬久井
の火災の際、交通事情等に

より、「消防車の遅れ」など
という言葉が一部から出ま
した。でき得る事なら、瀬
久井地区以外の古仁屋市街
地にも消防車の配置ができ
たなら、その点が幾分緩和
されるものと思われませんが、
その考えはないでしょうか、
伺います。

町長 古仁屋市街地におけ
る消防車の配置の必要性は
理解できますが、管理が分
断されることや駐車場、車
庫等の問題があり困難と考
えます。

議員 **漁業振興につい
て**
新たに養殖業に取り組も
うと模索している起業家が
いますが、クロマグロの稚
魚「ヨコワ」の入手が今後
困難になるとのこと。二の
足を踏んでいると聞いてい
ます。この情報をご存知で

でしょうか。

町長 新規にクロマグロ養
殖に取り組み起業家の話は
本人や漁協からは、町には
きておりません。

議員 **公共事業につい
て**

昭和31年の町村合併以
来、公共事業がこの町に及
ぼした経済効果は誠に大な
るものであります。その
公共事業の減少と共に我が
町の人口減少も又、加速し
ていった様に思えてなりま
せん。必要な公共事業には、
積極的に取り組んでほしい
と願うものですが、お考え
を伺います。

町長 公共事業の推進には、
厳しい財政状況の中で事業
の重点化やコスト削減を図
る等、既存の補助事業の有
効活用はもとより、交付税

措置の高い起債を活用する
など、地域の実情に即した
整備を進め、早期に整備効
果が発揮できるよう努めて
参ります。

議員 6月10日の豪雨の
後、久根津、瀬久井、トン
キャン、伊須、節子、嘉徳
地区に足を運んでみました。
伊須では「三年連続で、こ
んな目に…」という夫婦の
声。

節子川上流では、去年は
左岸、今年は右岸がえぐり
取られて、畑の足元も危う
い状況…。農家にとっては、
命の次に大切な畑でありま
す。

嘉徳では、一日も早く携
帯が使えるように…。との
声「住民の命と財産を守
る。」この事が政治の究極
の目的であることを申し添
え、一般質問を終わります。



中村義隆議員

議員 世界自然遺産登録に向けての取り組みについて

狩猟鳥獣として、猟銃で捕獲できる「ノヤギ特区」が狩猟期間に適用されていますが、死んだヤギは食用にできないのが阻害要因であります。生態系の保全に向けても特区の見直しは、全都市町村長会や希少野生生物保護対策協議会などで検討する必要があるのではないのでしょうか伺います。

町長 ノヤギ対策として、平成22年度に国の構造改革特別区域「特区」に認定され、狩猟期間中の猟銃での

駆除が認められております。特区の見直しにつきましては、関係機関の指導を受けながら、取り組んで行きたいと考えております。

議員 奄美群島の長寿に対して中年男性（40〜69歳）の早世率の高さについて

奄美群島の中年男性の死亡率が、全国平均1.5倍も高く、さらに上昇傾向にあると研究報告があったようですが、どのような内容でしょうか伺います。

町長 名瀬保健所管内の40歳〜64歳の死亡率は、全国値に比べ1.5倍であり、死亡原因では不慮の事故、心疾患、悪性新生物、肝疾患、自殺の順となっております。また、全年齢における主な死亡原因は、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の

順であり、他地域と同様となっております。健康診査受診者を対象にしたデータでは、ガンや循環器疾患のリスクが高くなる喫煙率は全国平均よりやや低い一方で、飲酒量は一日平均1.5杯以上（焼酎換算）の割合は、男性では年齢別、島別いずれも50%を越えていることなどが主な内容であります。

順であり、他地域と同様となっております。

健康診査受診者を対象にしたデータでは、ガンや循環器疾患のリスクが高くなる喫煙率は全国平均よりやや低い一方で、飲酒量は一日平均1.5杯以上（焼酎換算）の割合は、男性では年齢別、島別いずれも50%を越えていることなどが主な内容であります。

議員 教育行政について

本年度から中学校の保健体育の授業に武道とダンスが必修化になりましたが、本町の各中学校の現状を伺います。

教育長 本町の中学校では、武道においては柔道が2校（阿木名、池地）、剣道6校（久慈、伊子茂、秋徳、薩

川、俵、与路）、相撲3校（古仁屋、油井、篠川）、空手1校（諸鈍）となっております。



岡田弘通議員

議員 奄美群島成長戦略ビジョンについて

まずは、本町の各分野毎の具体的な戦略ビジョンを本町の各種機関・団体を含めた戦略会議（仮称）を設置して策定を行ない、広域事務組合等へ要望していくべきと思うが、町長の考えを伺います。

町長 現在、私と企画課長がそれぞれの部会等において協議を進めているところであります。7月に開催される第5回

作業部会を受けて分科会を立ち上げ具体的な話し合いが始まります。奄美群島成長戦略ビジョンは、重点3分野（農業、観光／交流、情報）＋2分野（文化、定住）の役割に限ったビジョンとなっておりますので、本町も広域事務組合と連携して本町に関わる成長戦略ビジョン策定に努めて参りたいと思います。

議員 農業振興について

1. 青年就農給付金制度について伺います。

町長 給付金の種類は2種類ありまして、一つは農業大学校や県が指定する先進農家・先進農業法人等で研修を受ける方を対象にした「準備型」で、就農に向けた研修中に最長2年間、年150万円を支給する給

付金です。これは給付窓口が県の方になります。

2つめは、農業を始めて経営が安定するまでの方を対象にした「経営開始型」で、年150万円を最長5年間支給する給付金です。

これは、市町村が作成する「人・農地プラン」への位置付けや独立・自営就農5年後、農業での生計が成り立つ実現可能な「経営開始計画」等の要件が必要となります。この給付金につきましては、市町村が窓口となります。

また、「準備型」の研修終了後の就農予定時の年齢と、「経営開始型」の独立・自営就農時の年齢が45歳未満であることが原則であります。

議員 2. この制度は、最も有利な国の事業であると思つので、郷友会等へ呼びか

けを行い一人でも多くの方が認定されるよう努力すべくと思つが考えを伺います。

町長 郷友会やあらゆる機会をとらえて呼びかけをして参ります。

議員 水産業の振興について

本町に立地している「奄美栽培漁業センター」と緊密な連携を図り、町としての支援協力を行ない、又、当センター・県・町・漁協等の話し合いの場を設置して、本町の漁業振興を図るべきではないか。農業振興同様に水産業についても、若者担い手育成事業を国・県に働きかけるべきと思つが、町長の考えを伺います。

町長 町としての直接的な支援はしておりませんが、地元雇用や町外からの問い

合わせや視察等も多く、国の「クロマグロの研究機関」として貢献は大きく、町としても今後も情報交換など、クロマグロに関しての交流を行って行きたいと考えております。



池田啓一議員

議員 防災について

平成22、23年と町は豪雨災害を受けましたが、その後被災地の方々との話し合い、また検証等は為されたいと思つます。その内容を伺います。

町長 被害が甚大な集落を対象に地域防災計画の見直しを目的とし、地域住民が、

災害発生からどの様な行動で、災害に対処したかの聞き取り調査を行いました。改めて、「自助」、「共助」、「公助」の防災の基本理念が重要であるかを感じたところであります。

集落水道については、瀬戸内町集落水道施設改良事業等に対する補助金交付要綱を本年4月1日付けで制定しております。

議員 商店街の活性化について

この件は、議会の意見に対する処理状況に示されていますが、その具体的な内容と商工会との会合等は、為されているのか伺います。

町長 市街地の空き店舗を活用して「寄り合い処せとうち（仮称）」を開設し、活力ある地域社会を実現していくことを目標としており

ます。さらに、「せとうち海の駅」へのワンストップの場所として、観光ビジネス客等へのインターネットサービスの提供にも努めたいと考えております。商工会との会合等については、現在しております。今月中にする予定であります。

議員 エフエムせとうちについて

4月25日にエフエムせとうちが開局しましたが、難聴地域から不満の声が出ています。今後の対策をお示し下さい。

町長 屋外アンテナを活用して改善を図りたいと考えています。ただし、屋外アンテナを利用しても受信が困難な地域は、ミニFM施設を整備するなどの対策を進めて行きたいと思つます。

議員 加計呂麻島展示・
体験交流館について

- ① この館の建設の目的を伺います。
- ② 現在の進捗状況と今後の計画を伺います。



岩井義照議員

町長 ①本施設を整備することにより、観光客の増加及び雇用の場と地域の活性化を図る目的で建設いたします。また、各種体験メニューを提供し、町内の宿泊客の増を図る目的でもあります。

②建物に関しましては、平成25・26年度の2カ年で本体工事を実施する計画であります。

議員 戦跡として、実久(有志の方々が小規模の整備を行う)、三浦(ダム)、瀬相(旧軍港近くの基地跡)等も活用してほしいか。

議員 町づくりについて

1. 5年間の町づくりで町長が特に力を注いできた施策は何ですか。

町長 借金返済と行政改革に取り組んで参りました。

議員 2. 今後、特に力を注いでいきたい施策は何ですか。

町長 今後も借金返済と行政改革に取り組んで参ります。

議員 3. 本町の問題と課題は何ですか。

町長 問題点と課題は、多岐に渡りますが、①少子・高齢化の進展と人口減少。

- ②共生・協働によるまちづくり。③健康で共に支え合う福祉のまちづくり。④地域の特色を活かした教育・文化のまちづくり。⑤安心・安全で快適に暮らせるまちづくり。⑥豊かな資源を活かした地域産業の創出。
- ⑦快適で活力ある住みよいまちづくり。以上、7項目が主なものと思います。

議員 4. 町民は本町に何を期待していると思いますか。

- 町長** ①地域経済の活性化。②産業振興の活性化。③交通・通信基盤の整備。④防災体制の整備。⑤医療・福祉・子育て支援。⑥教育の充実。⑦行財政機構改革。7つのマニフェストを中心に

に安全で安心して暮らせるまちづくりに努めて参りたいと考えております。

議員 学校施設整備について

阿木名小中学校は中学生39名、小学生66名、全校生徒105名の学校で、本町唯一生徒数が増えている学校であります。体育館の利用頻度は高く、夜間や休日には地区民が頻繁に利用している利用率の高い施設でもあります。

この体育館は築46年と古く、狭隘で危険な施設として、過去に幾度となく建て替えを陳情してまいりましたが、当局は財政事情を理由に一蹴してきた経緯があります。子供たちに安全で充実した学校施設を提供してこそ、教育のまちづくりと考えます。教育長の当施設の現況と整備について

お聞かせください。

教育長 これまで、部分的な補修や平成20年度には屋根の全面張り替え工事を実施しており、老朽化による外壁の亀裂や落下等についても、緊急補修で対応しているところであります。建て替えにつきましては、町財政も勘案しながら、整備方針の中で考えてまいります。



篠川、久慈、油井、嘉鉄小学校の3年生が議場を見学しました



鎌田 愛人 議員

議員 箱物建設事業について

1. 火葬場について

利用者が安心して利用できるよう、建替える必要があると思うが、町長の見解は。

町長 財政的に早急には実施できない状況化にあります。年次的に補修を行い維持管理に努めて、諸般の事情等を考慮して検討します。

議員 2. その他の箱物建設事業のスケジュールと予想される事業費を伺います。

①文化会館

②学校給食センター

議員 ③加計呂麻島展示・体験交流館

町長 ① 25年度基本設計・実施設計。26年度、27年度建設工事。28年度竣工。総事業費10億円超。

②文化会館建設後に建替え。概算で3億7千万円。

③ 24年度実施設計。25年度、26年度本体工事。総事業費2億6千万円。

議員 3. 加計呂麻島展示・体験交流館は採算が取れる自信があるか。

まちづくり観光課長 動いてみなければわからない部分が相当あります。できるだけ独立採算制という形でできればと思っています。

町長 やってみなければわからないという課長の答弁は実際そつだと思えます。

議員(指摘) やってみなければわからないという考

えて、3億円近くの事業を推進していいものなのか私には疑問に思う。

議員 4. 箱物事業で17億円、箱物以外にも事業がある中で、財政的な展望はあるのか。

財政担当補佐 財政調整基金等3億円しかない中で10何億円の事業をどうするか頭が痛いところである。優先順位を決めて、さらには必要最小限の分相応の規模で納まるようにお願いしております。

議員 教育・人材育成について

瀬戸内町青少年育成基金の運用(管理規則による助成)について

(1)「文化において、県及び九州又は全国規模の事業等」は古中の吹奏楽部や島唄

の子ども達は可能か。

(2)「スポーツにおいて、県の競技連盟若しくはこれらに準ずる団体が主催する強化合宿を含む事業等」は古中柔道部、古高相撲部の生徒は可能か。

(3)「国際交流を通して、人材育成に寄与することを目的として国又は地方公共団体若しくは、これらに準ずる団体が主催する国際交流事業等」は新極真力ラテの二年に一回の国際大会(ドリムカップ)へ古高生徒2名が参加、適用なるか。

社会教育課長 (1)可能だと認識している。

(2)可能だと考えています。

(3)そういったことも含め、条項をつたい助成する。

議員 参加者を引率する、外部指導者の旅費補助についてはどうなのか。

社会教育課長 引率者の分を特に重点を置いて、今回の管理規則は作られております。

本町では平成15年3月に「瀬戸内町地域新エネルギービジョン」を策定してある。その計画の実施及び進捗状況はどのようになっているのか伺います。



向野 忍 議員

議員 原発問題とエネルギー政策について

町長 「せとうち海の駅」と「勝浦公民館」に太陽光

発電システムを導入しおられます。「再生可能エネルギー特別措置法」が7月1日より施行されますので、新エネルギーの導入等がこれまでに以上に促進されるものと思えます。

議員 原発に依存しない島として、太陽光、風力、海潮流、バイオマスなど再生可能エネルギー活用に向け、奄振事業等に組み入れるべく提言すべきと思うが町長の見解を伺います。

町長 奄振延長へ向けて協議会及び検討会等が随時開催されますので、その中で提言して参りたいと思えます。

議員 「エフエムせとうち」が開局し、防災無線の役割も担うことが期待されているが、放送が聞こえないエリアがあるとの声がある。どの地域なのか把握しているか、対策はどのようなのか伺います。

町長 難聴地域は、基本的には防災無線の外部アンテナを設置している29の集落が該当するものと考えています。

議員 調査結果が分かり次第、難聴解消へ向けて対策を講じたいと考えています。

備・強化について

議員 高齢者や障がい者等の災害時要援護者に対する避難

学校教育について

議員 本町児童生徒の基礎学力に関する課題とその具体的対策について伺います。

教育長 本町では、極小規模校が大半を占めるため、個に応じた指導が行いやすいため基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせることが出来る反面、お互いの意見を発表し合いながらの相互解決の場面が持たないことが大きな課題と言えます。

課題解決のために、小規模校が各地区で集合学習を年5回ほど実施しながら、多人数での学習を展開しているところです。また、一人一研究事業を推進し、授業力向上のため授業研究会を実施しているところです。

本町では、極小規模校が大半を占めるため、個に応じた指導が行いやすいため基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせることが出来る反面、お互いの意見を発表し合いながらの相互解決の場面が持たないことが大きな課題と言えます。

文教厚生常任委員会

所管事務調査

『高齢者の生きがい対策に関する調査』

本町高齢者が生きがいを持つて、安心して暮らせるための施策等を調査し、高齢者の生きがい対策の充実を図るべく調査を行いました。

まず始めに、熊本市において、高齢者の「生きがい

社会参加対策」について調査しました。

●趣味、教養活動

市直営の生きがい作業所（8ヶ所）において、陶芸、園芸、手芸、木彫の各講座を月2回、1回当り2時間実施しており、受講料は無料で約100名以上が受講しているとのことでした。

また、農園（市内6ヶ所）を高齢者に貸与し、農作業を通じて、ふれあいと健康の維持増進を図っているとのことでした。

●老人クラブ活動

結成助成金は2万円とし、9ヶ月以上にわたって活動する単位老人クラブに対し、活動助成金年額4万8千円、健康増進助成金年額5千円の合計5万3千円を助成しているとのことでした。

●社会参加の促進

高齢者の社会参加の促進のため、熊本市シルバー人

材センターの運営を支援しており、平成22年度のセンター運営実績は、会員登録2492名（男性1708名、女性784名）、就業率82.2%、契約状況は2万1318件の約9億円（公共525件、民間2万793件）とのことでした。



熊本市直営の生きがい作業所を調査する文教厚生委員

員（1日以上就業）262名（男性160名、女性102名）であったとのことでした。

●契約件数及び金額

平成23年度は、契約件数2521件の契約金額8680万円（内訳は、公共184件の3270万円、企業515件の2430万円、個人1822件の2970万円）とのことでした。

●会員加入の促進方法

奄美まつりパレードへの参加や、年1回のボランティア活動を実施し、新聞への掲載等の活用を行っているとのことでした。

●事業実施に伴う問題点

国・市の補助金により運営していることから、現在は補助金が削減され、今後の補助金の不透明さが懸念されることと、23年度単年度は約90万円の赤字であったとのことでした。



奄美市シルバー人材センターにて調査を行う文教厚生委員

次に、本町における高齢者の生きがい対策事業の現況は、次のとおりです。

●無料乗車乗船券

80歳以上の高齢者に対して、町内の民間バスと町営フェリーに乘車、乗船する場合はフリーパスによる無料化にしており、予算措置として過疎債を適用し、約1千万円を計上しているとのことでした。

●老人クラブ

町老人クラブ連合会に対し、年間140万円を補助し、老人クラブ連合会は同会主催のゲートボール大会

やグラウンドゴルフ大会などの各種交歓会や各単位老人クラブによる各事業を支援するため、30名以上の単位老人クラブに年間3万円、29名以下に対し年間2万円の補助をしているとのことでした。

●敬老祝金

各年齢に依りて、100歳以上12名に年各10万円、90歳～99歳280名に年各3万円、85歳到達時に98名に年各1万円を贈呈し、総額1058万円であったとのことでした。

以上の調査を踏まえ、次の意見を町当局に提出しました。

『高齢者の生きがい対策に関する調査』意見

老人クラブ、社会福祉協議会等と十分な協議を行ない、高齢者が生きがいを持ち、積極的に社会参加する施策を研究し実行されたい。

編集後記

◆暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

◆4年に一度の夏季オリンピックがロンドンで開催され、日本が大いに燃えた暑い（熱い）夏でした。

日本選手の表彰台の晴れ姿が、今でも目に焼きついています。

◆これからの季節、秋の大型台風や豪雨が気になります。備えあれば憂いなし。万全の体制で備えましょう。

◆健康にはくれぐれもご留意ください。皆様のご健勝を祈念いたします。（事務局）

議会報編集委員会

委員長	向野 忍
副委員長	鎌田 愛人
委員	堯 文俊
〃	岡田 弘通
〃	林 健一
〃	吉見 洋和